

# 「高校生ICT Conference2023in石川」を開催 ～今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは～

総務省北陸総合通信局（局長 菱田 光洋）は、令和5年9月18日（月・祝）、金沢市の金沢勤労者プラザにおいて、高校生ICTカンファレンス実行委員会（委員長 米田 謙三 大阪私学教育情報化研究会副会長）とともに、高校生によるワークショップ「高校生ICT Conference 2023 in 石川」を開催し、小松大谷高等学校、金沢市立工業高等学校及び金沢錦丘高等学校の3校の生徒が参加しました。

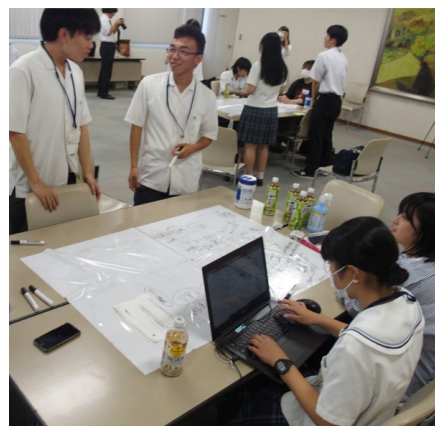
本行事は、身近なスマートフォンやインターネットの利活用をテーマに、高校生自身が深く考え意見を発表することで、将来のより良いインターネット利用環境構築の一助とするものです。

当日は、金沢向陽高等学校の林道雄先生の司会のもと、当局の川合徹電気通信事業課長による開会挨拶に続き、第一部では、KDDI株式会社北陸総支社の細川一人氏が「人とテクノロジーをつないで」と題して講演しました。

第二部では、参加者を3つの班に編成し、「今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは～デジタルウェルビーイングな社会を目指して～」をテーマに議論を行いました。その後のグループ発表では、各班から、「フェイクニュースの発信防止策」、「健康管理のための新たなアプリ活用推進」、「生成AIの正しい活用方法」について、討議結果が発表されました。



参加者の集合写真



議論する生徒たちの様子



各班からの発表の様子

最後に、参加生徒らによる投票の結果、11月3日（金・祝）に東京で開催される「高校生ICT Conference 2023 in サミット※」に、金沢錦丘高等学校2年の大西啓太さんが石川開催代表として参加することが決定しました。

代表に選ばれた大西さんより「代表として皆さんの意見をちゃんと伝えられるように頑張ってきます」と決意表明があり、参加者からは拍手が巻き起こりました。

※ 昨年度の「高校生ICT Conference 2022 in サミット」の概要は次のホームページに掲載されています。

<https://www.good-net.jp/ict-conference/2022/tokyo2022/>